

## 赤のアセンション日記 2013

太陽アカデミー みさき

「“愛”って、よく分からないんです…」

これが、2013年3月初めてアカデミーの一般セミナー個人セッションで、私が口にした言葉でした。家族、仕事…とにかく目の前のことで精一杯で走り続けた年月。ある日、突然、ブレーキがかかったように、気持ちが全く何にも動かなくなりました。なんとかバランスをとり戻したい！ 様々なことを試している時、アカデミーに出会ったのでした。『絶対にこの機会を逃してはダメ！！』という自分の心の声が聞こえ、半分自分でもよく分からないまま、その場でアカデミーの入会を決めていました。ハイヤーの、魂のSOS！の叫びでした。

アカデミーでの怒涛のミラクルジャーニーはすぐに始まりました。

世界の神話にどんなおとぎ話よりもドキドキした幼い日の記憶。星を見るのが大好きで、宇宙のことが知りたくて、宇宙飛行士なるのが夢だった学生時代。目に見えない“エネルギー”というものに惹かれ、気功や太極拳をはじめたこの数年。

とても大事だったのに、日々の生活に追われ、自分の中の奥深くに埋もれてしまっていた沢山の“宝物”と現在が、アカデミーのサイトや「天の岩戸開き」を読み始めたとたん、どんどん、点が線となって、つながっていきました。

大好きだったものを思い出し、それが繋がっていくにつれ、自分の中にむくむくとエネルギーが湧いてきて、これまで、曇りガラスの中から見ているようだった視界が、霧が晴れていくようにどんどんクリアになっていきました。

アカデミーでの学びは、自分の中にある常識、知識、習慣、情報などをいったん手放す「コップの水を空にする」こと、そして常に「ハートで感じ、ハートで考え、ハートで行動する」ことから始まりました。

ハート！！なんと長いこと、それに目を向けることを忘れていたのでしょう。

顔だけをフル回転で使うことが習慣になっていた私には、それは最初の大きなチャレンジでした。Ai先生や照子先生のガイダンス、アカデミーの皆様が存在に励まされて、とてもシンプルですが、実はとても高度でそして終わりのないこれらのワークを、なんとかあきらめずに続けていきました。

アカデミーの皆様は、一人一人がとても自然体生き生きと、一瞬一瞬をとて

も大切に楽しんでいらっしや、その姿は清々しくまぶしく、「ほんのちよつとでもいい、いつか私もあのようにになりたい、近づきたい！」という願いが大きな原動力となりました。

そして、ある日はっきり体感することができたのです！私の中にもちゃんとハートが息つき、ちゃんと光を放っていることを！！それに気づくと、暖かな大いなる薔薇色の光に、いつも全身すっぱり包まれ守られているのを感じることもできるようになりました。初めてこのエネルギーを感じる事ができた時の感動は、本当に忘れることができません。「これは“愛”としか呼べないものだ…！！ ああ、私はこれを感じたかったのだ！これと一体になりたいのだ！！」怒涛の思いが堰を切ったように溢れ、深い安堵と共に涙がぼろぼろと流れました。

ハートをなんとか感じられるようになると、自分の魂にフォーカスするワークを学び始めました。

これまで育ってきた環境は十分恵まれていましたし、仕事も自分がやりたいと思っていたことに、心血注いできたつもりでした。でも、突然ブレーキを起こしてしまった自分。その理由は、心の奥底にいつもなにか漠然とした空虚感、“本当にやり

たいことをできていないのでは？”という思いを抱えていたから、それをずっと見て見ぬふりをしていたからだということが、否応がなくはつきりしていきました。

そして、もっともっと魂にフォーカスをしていくと、今度は『“単なる私”という一人の人間の枠を超えたい！世界中の人、地球、宇宙全体までとつながりたい！！！！』いう切実な願いが、自分の中に宿っていることに気づいたのです！

“一人の人間としてちゃんと自立し、公私ともに充実した生活をしたい！”それが、自分の願いだと信じていた私は、自分の中にこんなに深い、熱い願いがあることに心底驚き、目から100万枚くらいうろこが落ちたような気がしました。

そして、8月。古い時代に創立されたある神社の森を歩いていたときに、その時は訪れました！！

太陽の光、風、木、花、大地、人、様々な生き物……すべてが調和する理想郷のような森の中に身をゆだねていると、ハートがぶるぶると勝手に震えだしました。

『そう、ここ！！！！ ここのように、地球全体を、あらゆる命の光が、それぞれに輝

き、美しいハーモニーを奏でる、幸せな星にしたい！

そのために、自分は働きたい！』

溢れる思いが、まるでそれ自体生命をもったかのように、ハート一杯に躍動し、そして、ハートから飛び出して周囲に響き渡り、こだまするように感じました。

『これだ！ これだ！！ これだ！！！

これが、自分がこの世に生を受けた真の真の意味、本当にやりたいことだ！』

途方もない願いなのに、理屈では説明できない、確信に満ちていました。

長い間砂漠を旅してきた後に、ようやく一杯の水を飲むことが出来たように、この確信は、電流が走るように私の全身に膨大なエネルギーを行きわたらせ、ちよつとぼんでいた細胞の一つ一つまでが、プチプチとその場で元気に、生き返っていくようでした。大きな大きな喜びに満たされながら、声にならない感謝を空に叫んでいました。

魂の究極の願いをしっかりと自覚すると、これまでシャボン玉のように、ふらふらと揺れてしやがなかつた自分の中心に、しっかりとした核が出来ていくのが分かりました。心身の不調はもう、すっかり忘れていました。

ミラクルジャーニーは、自分の内面だけでなく、物理的な旅としても展開されていきました。韓国、香港、スペイン、フランス、ドイツ、アメリカ、そして、メキシコ。心身のバランスを崩してからは、ほとんど東京から離れることはなかったのに、急転直下、いろいろな国に仕事で訪れる機会が次から次に降ってきたのです。

それまでは、海外に訪れても、ひたすら仕事の目標をちゃんと達成できるかばかりが気になっていましたし、よく体調も崩していました。でも、今回は、どんなハードスケジュールでも、長旅でもびんびんしていました。それぞれの国の良さ、美しさ、そして、地球の多様性に改めて感動をしましたが、なによりも大きかったのは、日本の素晴らしさの再発見できたことでした。

こんなにも日本のことが大好きで、日本のことをもっと知りたいと思い、リスペクトしてくださっているいろいろな国の人に出会ったことはこれまでになく、また、毎回、帰国する度に、他の国とは全く違う、日本の繊細さ、きめ細やかさ、そして静かな強さへの感動を新たにしました。

“「日本人であること」。それはとても、貴重で、大切にすべきことなのだ、それをちゃんと世界に伝えて行けるような人になっていかなくては！”

そんな自覚が自分の中で芽生え、どっしりと地に足が付くような安定感を感じるようになりました。

自分の究極の願いを叶えるために何をしたらいいのかも、アカデミーの中で、どんどん明確になっていきました。答えは“自分自身が愛と成っていくこと！”

私自身が愛というエネルギーを感じられたことで、自分の中のバランスの乱れが整っていったように、もし、地球上の一人一人が愛を感じ、伝えられるようになったら、たとえ小さくても、それは必ずや今、いろいろな問題を抱える地球のバランスを戻す一歩になるのです！

『自分が愛に成っていく！』その実践は大きなチャレンジです。

“物事をうまく進めるには、まず問題点を見つけ、その問題点を解決する方法をみつけること”。そんなやり方が沁みついていて私に、『できないことにフォーカスはないで大丈夫ですよ。できたことだけ、自分の中の光だけを見てくださいね。』

何度も何度も先生がガイダンスをくださいました。

これまでと真逆への意識転換が必要で、少々混乱気味となったこともありましたが、究極の願いを共有する魂の同志アカデミーの皆様との絆が、灯台の光のように、進むべき方向をいつも照らしてくれます。

『自分が出したもののだけが、自分に戻ってくる』

この宇宙の唯一の法則。これが真実であることを、少しずつこの身で体験していった怒涛の9か月でした。自分の意識がポジティブに変わっていくたび、どんどん見える景色が美しく、明るく変わっていきました。それは、決してネガティブなもの、隠す、見ないようにするというものではありません。何ものも隠す必要はなく、すべては最終的に自然と光の中に溶け合っていく、それに気づいていくことでした。

“愛”という言葉、口にするのも恥ずかしいと思っていた私ですが、今、確信しています。

「愛がすべて！ 誰もが皆、愛の光！！！」

そして、心の底から言えます。

「この私が“愛”を思い出せたのだから、絶対に誰だってできる！！」

そして、何一つ無駄な経験はない！」。

もし、なにかつまづき、行き詰まりを感じていらっしゃる方がいたなら、それは問題でもなんでもないので。一つのステージを無事終え、とうとう、本来の自分に戻



れる時がきましたよという“Calling”、魂からの呼び声なのです！！

“愛”を通してみると、すべてのものに、必ず美しい光が宿っていることが分かるようになります。1年前には、想像だにしなかった、澄み渡った心の静寂、平安そして、生きていることの喜びを感じ、大いなる幸福感に包まれている今、今度は、私がこの素晴らしい“愛”を伝え、一人でも多くの方々を、笑顔にしていこう！と、まだまだ続くミラクルジャーニーの行く末を楽しみに、とてもワクワク、胸を躍らせています！！！！